

# 衝突事故に注意！

## 衝突事故を防止するために

### 見張りの徹底

衝突事故の原因の約6割は、「見張り不十分」によるものです。  
航海中は**常に適切な見張り**を徹底し、早めの避航動作をとりましょう。  
特に、漂流・錨泊・操業・遊漁中は**作業に夢中になるなどして周囲の見張りがおろそかになりがち**なので、意識して見張りを行いましょう。

### 船舶間コミュニケーションの促進

早期に船舶間の意思疎通を図り、相手船の動向を把握しましょう。

- ・ 早めに相手船に分かりやすい動作をとる。
- ・ VHFや汽笛信号等を活用する。
- ・ AIS情報を活用するとともに、正しい情報を入力する。

### 居眠りに注意

**「居眠り防止装置を使用する」**・**「見張りを交代し休息を取る」**などの対策を講じましょう。  
また、眠気を感じたら、**「窓を開けて換気をする」**・**「ガムを噛む」**などの対策を講じましょう。

### 自動操舵使用時は注意

自動操舵装置を使用中の「見張り不十分」、「居眠り運航」による衝突事故も後を絶ちません。使用するときも適切な見張りを徹底しましょう。

また、次の場合は**手動操作**に切り替え、安全に操船しましょう。

- ① 港内
- ② 船が多い海域
- ③ 荒天、視界不良時
- ④ 周囲に浅瀬等がある場合
- ⑤ 潮流が強い狭水道
- ⑥ 他船へ接近するとき
- ⑦ 針路を変えるとき など

## 過去5年間における衝突事故の特徴

※平成26年～平成30年

